

創立25周年記念事業 体育館にエアコン設置

平成国際大学は、令和3年に創立25周年を迎えます。校友会では、節目の年として母校から出されていた体育館内エアコン設置の要望を受け、令和1年12月に開催された通常総会で、承認を得たことから工事が実行に移されています。予定どおり進めば、令和2年3月下旬から使用できる見通しです。

今後は、

部活や授業、学校行事で体育館を使用する際に快適に利用できると関係者から感謝の声が届いています。



東京オリンピック出場を目指す「重量挙げ」安藤美希子選手

「2020年東京オリンピック」開催の年を迎え、

平成26年度卒業の安藤美希子さんに注目が集まっています。昨年9月、タイのパタヤにて行われた世界選手権では、スナッチ96キロ、ジャーク126キロのトータル222キロを記録し、日本人最上位となる5位入賞。この結果、最新の五輪出場規程にある開催国枠3人などから最有力選手へと浮上しました。

また、協会関係者からも「五輪出場はほぼ間違いない」との発表もありました。

5月1日に最終決定となりますが五輪出場の際には、応援しましょう。



学校法人 佐藤栄学園
平成国際大学 校友会会報

英知

第9号

2020年3月発行



重鎮の勇退と巨星の就任

平成13年度の校友会発足時より、顧問の任に当たっていた酒井正文教授が、ご自身の定年退職に伴い、このほど退任することとなりました。

酒井先生には、会の運営に際し、会則や各種規定の制定、役員募集、会議の資料作成など、広範囲にわたる本会を支えていただくと同時に、一方では、常に満面の笑顔で同窓生と触れ合ってくださいました。本会にとっては、まさに重鎮でありよりどころでありました。長年のお力添えに対し、紙面をお借りし、深く感謝を申し上げます。

なお、後任には、酒井先生より推薦されました、平成国際大学を創立時より支えてこられた、母校の巨星である法学部の浅野和生教授が就任いたします。



「最終講義の様子」

酒井正文先生プロフィール

昭和24年生まれ（東京都出身）
昭和48年慶應義塾大学法学部政治学科卒業
昭和50年慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
（中部女子短期大学、杏林大学を経て）
平成8年平成国際大学法学部教授
平成13年校友会顧問就任
平成16年8月から平成24年7月まで法学部長（兼大学院法学研究科長）
専攻：日本政治史
所属学会：日本政治学会、日本選挙学会、法制史学会、日本法政学会等
主要業績：『満州事変の衝撃』（共著 勁草書房）、『大麻唯男』（共著 財団法人櫻田会）、『帝大新人会研究』（共著 慶應義塾大学出版会）他